

目指す姿	県民一人ひとりが、食事の楽しさ、大切さを理解し、健全な食生活を実践することにより、長野県健康長寿を延伸する。												
現状	・メタボリックシンドロームの該当者・予備群(40～74歳)は男性の2人に1人、女性では10人に1人(H22県民健康・栄養調査) ・若い世代の食生活は、野菜摂取の不足、食塩の過剰摂取、脂質の過剰摂取、朝食欠食等の課題がある。 ・生活習慣病の予防には、子どもの時から望ましい食習慣を身に付けることが大切であり、将来の食の自立に向けた実践力を身に付ける必要がある。												
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)					【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助金の交付主体が都道府県である(感染症予防事業費国庫負担(補助)金)、健康増進法、県食育推進計画、県健康増進計画、食育基本法、食育推進基本計画							
事業内容	① 成果目標(H26) ・第9回全国食育推進大会の開催                      ・「信州の食」の取りまとめ ・県民会議の開催(県民会議 2回) ・地域での連絡会議及びフォーラムの開催(連絡会議 10回、フォーラム 10回)												
	② 事業内容 (単位:千円)												
	項目		実施方法		H26実施内容		H25		H26				
							(当初)		(要求)				
									(予算案)				
	第9回食育推進全国大会		直接		・第9回食育推進全国大会における健康長寿PRシンポジウム等の開催		0		2,435				
	伝えよう、育てよう『信州の食』検討事業		直接		・伝えよう、育てよう「信州の食」検討、とりまとめ ・食育県民会議、地域連絡会議の開催 ・地域フォーラムの開催		949		6,517				
				合計		949		8,952					
事業コスト	区分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越						項目	H25末(見込)	H26			H27目標
		当初予算	1,395	2,126	949	8,952	目標			成果	達成状況		
		補正予算											
		合計(A)	1,395	2,126	949	8,952	0						
	Aの財源	国庫支出金	697	1,060	473	4,471		県民会議の開催	2回	2回			
		県債						県民大会の開催	1回	1回			
		その他( )						地域フォーラムの開催	10圏域	10圏域			
		一般財源	698	1,066	476	4,481	0	食育ボランティア数	18,118人(H24)	18,118人以上			
	決算額(B)		1,395	2,126				食育に関心がある県民の割合	51.5%(H22)	65%以上(H29)			
概算人件費	職員数(人)	2.50	2.50	2.50	2.50								
概算事業費(B(A)+C)		22,040	22,771	21,594	29,597	0							
指摘事項等への対応		(指摘事項等) ・県の関連部局の調整を図って、相互の事業で相乗効果を図っていくべきである。 ・ゼロ予算でのキャラバン隊の編成と取組を進め、成果をあげているところはすばらしいと思う。					(対応) ・これまでも農政部、教育委員会、健康福祉部が連携して事務局を構成し、全庁的に連携しており、今後更に連携を進めていく。 ・ボランティアの活用等によるゼロ予算事業を含め、今後も費用対効果を踏まえて事業を実施していく。						
要求からの主な変更点													